

薬剤師を目指している皆様へ



岩手県立中央病院は、急性期高機能センター病院として県営医療の中核機関の役割を担っており、薬剤部では、先進・高度・特殊医療機能の医療現場をステージに活躍しております。

調剤だけでなく、チーム医療の一員として活躍する病棟薬剤業務、抗がん剤調製、DI業務、治験等多様な業務が経験できる他、専門認定薬剤師を取得しやすい環境も整備し、やりがいを多く感じることができます。



■ 薬学生実務実習の受け入れ状況

	1期	2期	3期
2010年		4人	
2011年	3人	2人	
2012年	3人	3人	
2013年	3人	3人	
2014年	4人	4人	2人
2015年	4人	4人	5人
2016年	4人	3人	4人
2017年	3人	4人	3人



カリキュラムに沿った実習内容の他、希望に応じた業務・見学の体験が可能です。

また、就職先として現場を確認したいという薬学生のために見学のみも受付けておりますので、事前にご連絡ください。

【当院で実習した薬学生の声】

- ・ 実習始めの頃は、わからないことだらけでとても不安でしたが、とても親切に教えてくれてうれしかったです。ありがとうございました。
- ・ 病棟で、患者さんだけでなく他の医療スタッフとコミュニケーションが取れて良かったです。
- ・ 病棟業務での患者さんとの関わり方や注射調製などたくさんの体験をすることができ、薬剤師を目指す者として一歩進むことができました。
- ・ 症例発表では疾患や治療について調べて、患者さんと実際お話をし、医師に処方提案をするという一連の流れを体験することができ、難しくはありましたがとても良い経験になりました。
- ・ 今回の実習を通じて、病院薬剤師に対する意識に変化があり、将来の就職についても考えることができました。

「主な業務内容」を開いたとき

最先端の医療現場で働きやすい

やりがいを多く感じることができる環境！！

調剤室

- 入院、外来の処方箋の調剤、鑑査
- 疑義照会
- 窓口での服薬指導
- 治験薬の払い出し
- 問い合わせ



軟膏調剤機



水剤分注機



錠剤分包機



散薬調剤
ロボット



鑑査

病棟薬剤業務

- 全病棟にて病棟薬剤業務を実施
- 1フロアに担当薬剤師を3～4名ずつ配属
- 毎日終日または半日病棟業務を行う業務配置
- 薬剤管理指導同システムにて指導記録、算定も一括で可能
- カンファランスへの参加、病棟での勉強会等他職種との連携



チーム医療への参加！

ICU・手術室の業務

- 注射剤の調製、内服薬の配薬
- 手術室での薬品・麻薬管理



ICUでの注射薬調製



手術室の麻薬管理

チーム医療への参加！

化学療法調製

- 事前に入力される抗がん剤指示書により
投与量、投与間隔等をチェック
- 調製室が外来化学療法室の隣にあるため
医師・看護師と患者情報の共有を効率化
- がん薬物療法認定薬剤師による患者へ直接指導、フォロー



化学療法調製室の様子



患者さんへの指導

がん化学療法への参加！

医薬品情報管理(DI)

- 新規医薬品の採用時における情報収集
- 薬の知識や最新情報を収集・管理・提供
- 病棟担当薬剤師との連携（情報共有）



医薬品情報 No.42 49918770
 患者科医薬品使用上の注意事項のご案内(医薬品安全対策情報 No.250)
 2018.03.28 (2018年3月28日現在) 発行

重要

オマリシタマブ 50mg
 オマリシタマブ 100mg
 オマリシタマブ 200mg (注射)
 オマリシタマブ 500mg
 オマリシタマブ 1000mg (注射)

報告

アムピシリン錠 100mg (錠)	→	アムピシリン錠 100mg	→
オマリシタマブ 50mg	→	オマリシタマブ 50mg	→
オマリシタマブ 100mg	→	オマリシタマブ 100mg	→
オマリシタマブ 200mg (注射)	→	オマリシタマブ 200mg (注射)	→
オマリシタマブ 500mg	→	オマリシタマブ 500mg	→
オマリシタマブ 1000mg (注射)	→	オマリシタマブ 1000mg (注射)	→

薬剤師は薬のスペシャリスト！

医薬品管理・供給



アンプルピッカーによる
注射薬払出



薬品管理システムによる
薬品発注・在庫管理

- 病院内において、医薬品の購入・保管、各部署への供給と一貫した管理を行う
- 品質管理の徹底、薬品使用に関するデータを分析

病院経営への貢献！

治験業務

- 岩手県立病院共同治験の治験センターとしての役割
- 共同治験審査委員会開催
- 治験薬管理



治験コーディネーター
(CRC) 導入



治験薬管理払出し

新薬開発を通じた医療の貢献！

委員会・チーム活動

- NST・褥瘡
- ICT
- 緩和チーム
- 薬事委員会
- 医療安全管理委員会 等々



チーム医療の一員として医療の質向上、医療の安全、患者さんの健康を守り、他職種から求められる医療現場の最前線ならではのやりがい！

「新人教育」を開いたとき

マンツーマンで行うきめ細やかな指導と

着実に成長できる教育体制！！

入職して1年目の薬剤師には、先輩薬剤師がマンツーマンで指導するプリセプター制度を導入しています。

仕事でわからないことや不安なこと、時にはプライベートなことまで相談に乗り、個々の能力に応じ、進捗状況を確認しながら教育する体制を構築しています。

【主な教育内容】

教育業務リスト

分類	項目	内容
教育	調剤	処方箋の分類、1日の業務の流れがわかる
		調剤内規について理解している
	注射	注射箋の分類、1日の業務の流れがわかる
		化療業務概要について説明を受けた
	化療	被曝時の対応について理解している
		麻薬、向精神薬の概要(法令)についての説明を受けた
	麻薬・向精神薬	管理記録簿への記入の説明を受けた
		注射の麻薬、向精神薬受け払いの実務に関する説明を受けた
	製剤	製剤業務概要について説明を受けた
		クラス分類(I~III)について理解している
		薬品の廃棄方法を理解している
	医療安全	災害対応薬品について理解している
		過去のインシデント・アクシデントについて説明を受けた
病棟	病棟業務概要について理解している	
	担当病棟以外の薬剤管理指導の見学	
	プレアボイドについて理解している	

病棟業務リスト

分類	項目	内容
病棟薬剤業務	持参薬	持参薬鑑別、患者面談により指示書への記入とスタッフへの適切な情報提供ができる
	相互作用	相互作用確認ができる
	ハイリスク薬	ハイリスク薬の説明ができる
	DI情報	DI情報の収集、提供ができる
	スタッフ間の連携	カンファレンス、回診に参加し、他のスタッフとコミュニケーションできる
	その他	日報が入力できる
薬剤管理指導	薬剤管理指導	患者基本情報、薬歴、検査データが確認できる
		患者の理解度に合わせた服薬指導ができる
		薬効の評価、副作用のモニタリングができ、必要に応じて処方提案ができる
		退院指導ができる
	ファーマロードで指導記録が作成できる	
その他	算定	薬剤管理指導算定の分類がわかる
	在庫管理	月に1回の棚卸しの方法がわかる
	プレアボイド	プレアボイドの事例が報告できる
	病棟ミーティング	担当病棟の症例発表ができる

【1週間の主な業務内容】（ローテーションでいろんな業務をします。）

	月		火		水		木		金		土	日
	AM	PM										
新人 A	病棟	調剤	化療	製剤	調剤	注射	病棟	病棟	化療	調剤	休み	



新人薬剤師アンケート

～ 薬剤部の雰囲気や将来の姿をイメージしてみてください～

Q1. 将来の夢について

私は1年目でまだまだ学ぶことがたくさんありますが、将来的にはある分野に特化した薬剤師になりたいと思い、県立中央病院に就職を決めました。県立中央病院は日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設、日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設の指定を受けており、専門薬剤師、認定薬剤師の資格を取ることができます。私は現在、糖尿病の患者さんの多い総合診療科のある病棟に配属されており、糖尿病薬やインスリンなどに興味を持ち、もっと深く学んでいきたいと思うようになりました。将来的には糖尿病薬物療法認定薬剤師の資格取得を目標に日々勉強していきたいと思っています。



Q2. こんな風になりたいと思う憧れの先輩について

県立中央病院薬剤部の先輩方はみなさん優しく、熱心に指導してくれます。ときには厳しい指導もありますが、患者さんの命を預かっている医療従事者として尊敬できる部分でもあります。また、新人薬剤師には一人ひとりに二年目の先輩が教育係として担当してくれるので悩みごとや相談ごとは何でも言うことができ、頼もしい存在です。

一緒に働いていく中で、私も将来的には指導してくれた先輩方のような頼られる薬剤師になりたいと思うようになりました。



Q3. 職場の人と社外のコミュニケーションについて

薬剤部では飲み会が頻繁に開催されます。また年に1度程度、女性薬剤師だけの女子会が行われます。今年は秋にさくらんぼ狩りに行きました。普段は業務内でしか話さなかった方とも色々な話ができる機会となりました。また、夏に盛岡さんさ踊りに太鼓で参加したり、秋は安比リレーマラソンに出場したりもして、楽しいイベントがあります。体を動かすので日常の業務のリフレッシュになっています。

Q4. 職場の雰囲気について

新人薬剤師は、入職したての頃は主に調剤業務を行います。県立中央病院薬剤部では入院・外来処方どちらも受け付けており、忙しい日もありますが直接患者さんと接してお薬の説明をし、「ありがとう」と言ってもらえると薬剤師としてのやりがいを感じます。また、困ったことや分からないことがあれば先輩薬剤師が丁寧に教えてくれます。疑問があればすぐに聞くことができる雰囲気なのでとても働きやすい環境だと思います。

Q5. 県立中央病院薬剤部の魅力について

県立中央病院薬剤部は薬剤師の人数が多く、お互い業務をフォローし合えるので休暇を取りやすい環境が整っています。また、専門・認定の資格を持っていたり、資格取得を目指している薬剤師が多いので、自分が取得したい分野があれば先輩方からアドバイスをもらったり、相談にのってくれたりしてくれます。さらに、製薬会社による新薬などの勉強会や先輩方の症例発表が定期的に行われるので、新しい知識を日々吸収できとても勉強になっています。



「薬剤部概要」を開いたとき

- 薬剤師数：29名 薬剤助手：3名（平成29年度）
- 処方箋発行枚数（月平均）
 - 外来院内：106枚
 - 外来院外：377枚（発行率78%）
 - 入院：278枚
 - 注射：1,200枚（平日）、500枚（休日）
- 薬剤管理指導件数：1,134件/月（H28年度）
- 外来抗がん剤調製件数：496件/月（H28年度）
- 入院抗がん剤調製件数：246件/月（H28年度）
- 採用薬品数：1,606（H28年度）
- 後発医薬品使用割合：88.2%（H28年度）
- 二勤交代制（週休二日勤務）
- 医薬品SPD委託
- 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設
- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設



「県立病院薬剤師の魅力」を開いたとき

◎ 病院薬剤師として総合的な力を発揮できます！

- 患者さんと密にコミュニケーションを取ることができる
- 薬で体調が回復していく様子を直に見ることができる
- 直接カルテを見ることができるので、医学的に薬理を考えることができる
- 医師や看護師等にアドバイスをする場面もある 等

チーム医療に関わることによってやりがいも多く感じることができます！！



◎ 多様な経験を積むことができます！異動はメリット！

- 高度急性期機能から慢性期機能、緩和医療、在宅医療等 20 の多岐にわたる病院での勤務により、単一の病院とは異なる多様な経験を積むことができ、自分に最も適正のある仕事を発見することができます。

多種多様な経験を積むことでスキルアップが可能！！

- 結婚等で県内での生活の本拠地を変更しなければならなくなった時、職場を辞める必要がありません。その先に必ず県立病院があります。

希望に応じた勤務地で働くことが可能！！

- 多種多様な経験を積んだ幅広い年齢層の薬剤師が在籍しており、普段から交流をして情報共有等を行なっています。

わからない、知りたい情報は他の県立病院薬剤師が教えてくれます！！

岩手県立病院一覧

広大な県土に、全国一の20病院、6地域診療センター

二次保健医療圏	盛岡	二戸	岩手中部	胆江	両磐
● センター病院	中央				
● 広域基幹病院		二戸	中部	胆沢	磐井
● 地域基幹病院			遠野		千厩
● 地域総合病院		一戸		江刺	
◆ 地域病院		軽米	東和		大東
○ 地域診療センター	紫波 沼宮内	九戸	大迫		花泉
□ 精神病院(病棟)		一戸			南光

二次保健医療圏	久慈	宮古	釜石	気仙
● 広域基幹病院	久慈	宮古	釜石	大船渡
● 地域基幹病院				
● 地域総合病院		山田	大槌	高田
◆ 地域病院				
○ 地域診療センター				住田
□ 精神病院(病棟)				大船渡



◎ 公務員薬剤師として充実した社会保障が完備されています！

- 毎年度、昇給することによる収入の増加と人事考課制度を取り入れて、成果に応じた昇給UPの待遇も行っています。
- 基本給に加えて、通勤、住居、寒冷地手当等の多数の諸手当がある他、結婚休暇や産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇等の様々な休暇を取得でき、長く働き続けられる福利厚生が充実しています。
- 住居については、病院宿舎（基幹病院）を用意しています。
- 療養等の給付や貸付金制度も充実しています。

◎ 研修はシステム化されています！

- 『勉強したい！』そんな意欲のある薬剤師は全面バックアップします！！
- 専門的な学会研修のほか、経験年数に応じたシステム化された人材育成研修を受けられます。
特に、専門・認定薬剤師の資格取得及び資格更新に向けた環境を整備しています。



【岩手県立病院 主な専門・認定薬剤師取得状況（2017年）】

認定機関	認定名	人数
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師	10
	感染制御認定薬剤師	6
日本医療薬学会	がん指導薬剤師	3
	がん専門薬剤師	2
	医療薬学会認定薬剤師	3
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	4
日本静脈経腸栄養学会	N S T 専門薬剤師	16
日本糖尿病療養指導士認定機	日本糖尿病療養指導士	13
日本薬剤師研修センター	認定実務実習指導薬剤師	36
	漢方薬・生薬認定薬剤師	2
	小児薬物療法認定薬剤師	2

各種専門・認定薬剤師キャリアデザインを作成し、資格取得及び更新に関わる全面支援が成されています！！